

材料エネルギー学部による産業変革先導拠点の創出

～“マテリアル・イノベーション”人材養成を起爆剤とした大学改革・エネルギー変革・島根創生の実現～

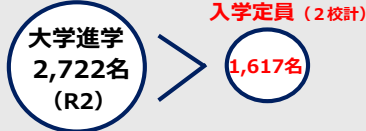
島根県の課題

- 若者の県外流出による生産年齢人口の減少
- 県内に大学が2校しかなく、収容力不足
- 下請け型企業が多く（99%が中小企業）、製品開発力の不足、デジタル化への対応に課題

島根県の対策

- 地方版総合戦略「島根創生計画」を策定（ものづくり・IT産業の振興、若者の県内就職の促進）
- 若者の流入・定着を実現し、2030年までに社会増減の均衡を目指す

地域の特色ある産業分野である「素材分野」を牽引するイノベティブな人材の必要性／産業界に直接コミットできる社会実装型工学系の新学部設置



大学の強み

- 地方大学・地域産業創生交付金事業推進（先端金属材料グローバル拠点の創出）
- 企業との関連共同研究事業規模が2.1倍へ拡大

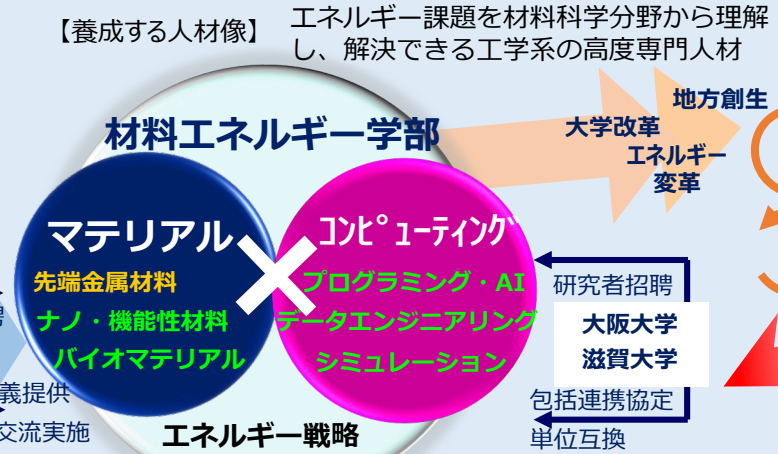
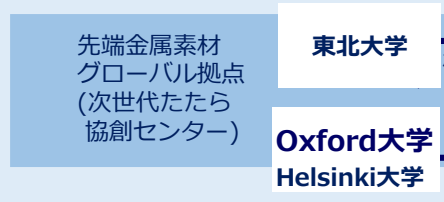


地域産業のニーズ

- 県内に広く分布するマテリアル関連産業の研究開発機能の強化
- マテリアル関連産業等への研究者・開発技術者の供給

材料エネルギー学部の設置による地方創生

入学定員 80名
(定員増40名学内振替40名)



地域連携プラットフォーム

- 地域の課題を共有・解決策の提案
- 工学系の高度専門人材の輩出と産業振興の好循環
- しまね産学官人材育成コンソーシアム「島根県版高等教育のグランドデザイン」を策定し、工学系新学部設置を明示
- しまね先端金属材料拠点創出会議
- 島根大学しまね産業振興会議（新設予定）

地域からの支援

- 県からの研究等に対する財政的支援
- 産業界からの支援により県内就職希望学生対象の奨学金制度

特色ある教育
～マテリアル起点の社会実装教育～

- ▶マテリアルズ・インフォマティクスに資するデータサイエンス教育
- ▶オックスフォード大学等、海外大学との連携によるオンライン教育、海外研修
- ▶アントレプレナーシップ教育など産業振興に直結する社会実装教育
- ▶チーム協働で企業の実課題に取り組む社会実装を見据えたプロジェクト型演習

先鋭的な学部形成により大学改革・地方創生を実現するロールモデルへ



※ なお、学部名称については、変更となる可能性がある